

議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party support (公明, 自由, 日本, 緑, 民主, 市民, 市民, 社民), and decision result (可決, 承認, 採択, etc.).

Table with columns for item name, party support (公明, 自由, 日本, 緑, 民主, 市民, 市民, 社民), and decision result (可決, 承認, 採択, etc.).

※出席した会派の議員全員が賛成：○、出席した会派の議員全員が反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。
※6月21日付で会派の変更があり、「みらい・つばさ」が「みらい」と「つばさ」になったため、審議結果一覧が2つの表になりました。

6月定例会には、新たに請願3件、陳情10件が提出され、閉会中継続審査事件となっていた案件と併せて所管の各委員会へ審査しました。
議会は、このうち、請願3件と陳情4件を採択し、陳情4件を不採択としました。

(審議結果は左上表)

請願・陳情

6月定例会には、意見書案14件が提出されました。
議会は、この意見書案のうち、10件を可決、4件を否決しました。
可決した意見書は、6月24日に関係行政庁へ送付しました。

(審議結果は左下表)

意見書

子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう求める意見書(要旨)

全国の女性の期待の声を受け、子宮頸がんワクチンが昨年10月に承認された。

日本では、毎年約15,000人が子宮頸がん罹患し、約3,500人が残念ながら亡くなっている。特に近年では、20代から30代女性が最もかかりやすいがんになっている。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)によって起こる。ウイルスによって起こるがんなので、ワクチン接種で予防し、がんの発症を抑えることができる。

日本では現在、承認されたこの予防ワクチンは任意接種で、3回の接種に合計約5万円前後の費用が必要となることから、すべての女性がうける状況にない。ワクチンという予防措置で女性の命と健康が守られることは、医療コストの点からも効果は十分あると思う。

よって、国におかれては、女性の命と健康を守るために、子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう強く要望する。

○平成22年定例会開会予定日○

Table with 2 columns: Meeting Name (9月定例会, 12月定例会) and Date (9月3日(金), 11月26日(金)).

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。

Table listing council members by party: 公明党 (大川博, 宮本正, etc.), 自由クラブ (中田幸太郎, 菅野保子, etc.), 日本共産党 (高井一勝, 加藤貞, etc.), 市民の声 (石原義一, 佐藤美佐子, etc.), 緑風会 (竹内清海, 松永修, etc.), 民主・市民連合 (松本健二, 松永修, etc.), 社民・市民ネット (岩井清一郎, 金子清一郎, etc.), 市民の声 (湯浅止子, 秋本竜子, etc.), 公明党 (田中幸太郎).

※○は会派代表者。(この会派別議員名簿は6月21日現在のものです。)